

◎観瀾校のコミュニティ

地域の活力を生かし、地域の教育力を学校に取り込むこと。つまり、地域の人々による学校支援のこと。

つなぐ71号

小城市立小中一貫校
芦刈観瀾校
H29. 10. 24(火)
文責：白井

◆本通信は、地域の方々との連携による芦刈観瀾校の教育活動を保護者や地域の皆様にお知らせするものです。さまざまな取り組みによって子どもたちに「豊かな心と確かな学力」を育んでいく様子をお伝えしています。

地域ボランティアの方々による支援活動 7～10月編



1年生干潟体験



6年生ナップザック製作



7～9年生スケッチ会安全見守り



5年生ミシンボランティア



3年生冬野菜の栽培



3年生習字

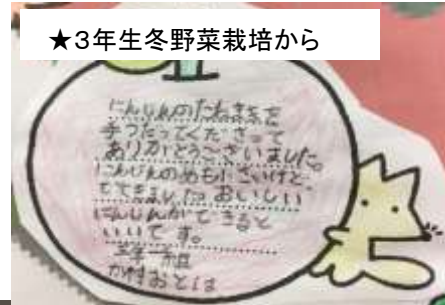
今学期も毎週3人の先生方に来ていただいています

二学期も多方面でのご支援をいただいています。地域の方々、学校職員だけでは目の届かないところまで目配り、気配りをしてくださったり、得意分野の知識やスキルを発揮して補助をしてくださったりすることで、子ども達の活動は充実し、一人一人の満足感が高まっています。

《 子ども達の感謝の言葉 》

《 学校職員の声 》

★3年生冬野菜栽培から



★5、6年生家庭科支援について
ミシンの調整を本職とされていた方がいらっしゃったので、とても心強かったです。ミシンの扱い方のチェックポイントを教えてくださったので、子ども達への指導に生かすことができました。

1年生朝のすくすくタイムが始まりました

毎週木曜日の朝の時間に、前期ブロックで行っている「すくすくタイム(計算タイム)」が、9月から1年生でも始まりました。地域ボランティアの先生方に見守られながら、5分間、集中して計算問題に取り組んでいます。地域の先生方に正答した問題数やタイムの伸びを褒めてもらい、みんな嬉しそうです。

1年生は、「35人の学級とは思えない、落ち着いた子ども達で感心しました。」「学習のルールも定着していて素晴らしいですね。」と、地域の先生方からお褒めの言葉をいただいています。

毎回十数名のボランティアの方々が1～4年生の学級に入ってくださいありがとうございます。



「ばらの会」様

毎年5月に、1年生の交通安全を願って手作りのしおりを寄贈して下さっている「ばらの会」の皆様が玄関前にちぎり絵の作品を飾って下さっています。学期ごとに作品を入れ替えていただいております。今回は収穫したトウモロコシの絵が飾られ、玄関が季節感のある素敵な空間になりました。